

校長室だより

岸和田市立浜小学校 平成26年度 第7号

木々が紅葉し始め、空気が澄んで美しい季節になりました。

10月には、運動会、遠足など大きな行事がたくさんありました。中でも6年生は修学旅行、連合音楽会と小学校最大の思い出となる行事が続きました。運動会、連合音楽会ともに、かなりぎりぎりまで完成しないでひやひやさせてくれる6年生ですが、本番はいつもみごとです。チーム浜のリーダーとしてあと5カ月、しっかりとした足跡を残し、後輩に引き継げるものを築きあげてくれることでしょう。

【音楽会】

今、音楽の時間には12月の音楽会に向けての練習が始まっています。まだそれぞれで自分の楽器を練習したり、歌のパート練習をしているところです。

今度は、「チーム〇年〇組」の団結力が必要です。『心がひとつになった演奏は、聴いている人たちも演奏している自分たちも気持ちよくする』ということ子どもたちは知っています。今年もその感動を味わってほしいし、私たちも感動させてほしいと今から期待でいっぱいです。

「詩はいつでも歌に憧れてる」って僕は言うのね。

ホントは音楽が一番いいんですよ。

言葉の意味に縛られないで、自由に人間の心に訴えかけてくるでしょ？

谷川俊太郎

★29年ぶりの日本一を期待した阪神タイガース、あっけない幕切れとなってしまいました・・・

気持ちのキャッチボールをするために

キャッチボールをしていてボールを受け損ねても、追いかけて、拾って、相手に投げ返せば、また相手からボールが返ってきます。でも、受け損ねたボールを追いかけて放っておくとキャッチボールはそこでおしまいです。また、いくら受けやすいボールを投げて、相手に取る気がなければ、キャッチボールはできません。固く閉ざされた体にボールがあたったとしたら、やさしく投げたボールでも「痛い!」と感じるかもしれません。

同じようにコミュニケーションは、一方通行ではできません。ときには、一方通行のひたむきな気持ちが相手に伝わって、コミュニケーションがうまくとれることもあるでしょう。でも、相手の気持ちを汲み取ろうとしない一方通行の要求は、ますます相手の心をかたくなにしてしまうことの方が多いのです。

自分の気持ちが相手に届いているかどうかを確認する「これ!」といった方法はありません。でも、相手がこちらを信頼してくれたときメッセージは届きやすくなると感じられる経験をされたことはあると思います。相手に信頼してもらうためには、発信ばかりするのではなく、しっかり「聴く」ことが大切です。相手の気持ちをしっかり「聴く」ことで、こちらのメッセージも届きやすくなるはずです。

気持ちのキャッチボールは、相手の気持ちを感じるころから始めてみましょう。「聴く」ことは人間関係づくりの基本です。今まで以上に子どもたちの声に、耳と目と心を傾けたいですね。



授業アンケート

1学期にご協力いただきました授業に関するアンケートの結果をお知らせします。

80%以上の方からすべての項目において肯定的な評価をいただきました。今後とも学校全体で授業研究、改善に努めていきます。

